



【No.623 2014/2 第1例会】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F

安城市御幸本町15-1

TEL:0566-75-8866

FAX:0566-74-5678

Email:anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: <http://www.anjo-rc.org>

第2764回例会

2014年2月7日(金) 12:30~13:30

司会者：山田 庸雄君

ソング：「君が代」「奉仕の理想」

卓上花：チューリップ、くじゃく草

ゲスト及びビジター：米山奨学生ニー・ニー・エイさん



2013-2014年度RIテーマ：

「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」

安城ロータリークラブ会長方針：

「充実したロータリーライフを楽しもう。」

■会長：都築 雅人

■幹事：神谷 研

■クラブ会報：青山竜也・川合昭道・加藤英明

■創立日：S33年1月10日

■RI加盟認証日：S33年2月6日

■会長挨拶

都築 雅人会長

《あいさつ》

2/7 第8回定例理事会

- 議題 ・次年度組織表(案)・・・承認
- ・収支報告

2/6 ワイン同好会 於 鯛常ビル「ダ・テッラ」

15名参加



医学豆知識⑬ 体温の知識

❖ 楽天BLOG

ダイエッター主婦の事件簿：間違いだらけの体温知識

- ・一般市民へのアンケート(100人)

平熱の基準 36.5°C(22人)、36.0°C(13人)、35.5°C(9人)

発熱の基準 37.0°C(52人)、37.5°C(19人)、38.0°C(8人)

- ・医師の判断

平熱は37°C前後、有意な発熱は37.5°C以上。風邪等の症状があれば、37.0~37.4°Cでも意味あり。

個人差があり、平熱より0.5~0.7°C以上高い場合は発熱があると判断すべきという意見がある。

- ・医学大辞典

日本人の腋窩温の平均は36.89±0.34°C

❖ 正しい体温知識

- ・正しい体温の測り方：体温計の先が腋窩の奥の中心になるように体温計を体に対して30度の角度で挟む、腋窩をきちんと密閉する、測定時間を守る。
- ・身体活動(特に筋肉)により、熱が発生する。朝は低く、活動している昼間は高い。寒い時に体がガタガタするのは、筋肉を動かして体温を上げようとする生理的反応。
- ・年齢差：子供の体温は高目で、加齢とともに低くなる。
- ・風邪などにかかった時の発熱は、免疫力を高める防御反応であるので、むやみに熱を下げるのは要注意。最近では風邪の発熱に対して、解熱剤の注射はしない。
- ・むしろ低体温の方が問題で、体温が低下すると、免疫力が低下し、感染症にかかり易くなり、肩こりや不眠などが起こり易くなる。

【2月のクラブ内例会・委員会予定】

14日→15日 インターシティーミーティングがグランドティアラ安城

21日 卓話担当 戸谷央君

卓話者 一般社団法人安城青年会議所 直前理事長 山本智志様

テーマ「明るい豊かな社会の実現へ」

28日 卓話担当 深津正則君

卓話者 地区国際奉仕副委員長 杉浦敏夫様

* 定例理事会

《2月の行事予定・地区会議》

8日 IAC次期役員・提唱クラブ次期委員長会議 15:00～名古屋YMCA

9日 デンパーク駅伝 都築会長

22-23日 安城ロータリー旗争奪少年野球大会 安城ソフトボール場

26日 ガバナーナイトの集い 18:30～ウェスティンナゴヤキャッスル 沓名君 奥田君 深津君 恒川君

◆今月のお祝い◆

★会員誕生日祝

成瀬介宣君(2/11) 山田庸雄君(2/13) 石川義典君(2/14) 藤井英樹君(2/18) 近藤裕保君(2/18)
都築雅人君(2/22) 大嶽岩雄君(2/22) 杉山淳一君(2/24) 松本隆利君(2/28)

★夫人誕生日祝

戸谷一美様(2/15) 市川裕美子様(2/17)

★結婚記念日祝

鈴木福美・公江ご夫妻(2/18) 竹内通裕・久代ご夫妻(2/21) 深津正則・啓子ご夫妻(2/27)

■幹事報告

神谷 研幹事

- ・次年度地区出向者へ委嘱状が届いております。
- ・米山記念奨学会・ロータリー財団より申告用領収書が届いておりますので、ご確認ください。
- ・職業講話職場体験事業所登録用紙の提出お願いいたします。
- ・2/15(土) インターシティーミーティングがグランドティアラ安城にて行われます。
名札は当日会場にてお配りいたします。式典開始は15:00です。
- ・3/7(金)職場例会を安城農林高校にて行います。
- ・3/7(金)18:00ファイヤーサイドミーティングを行います。対象者の方にはご案内いたしましたのでご出席下さい。



次年度 地区出向者へ委嘱状

会員	60名
出席義務者	46名
出席	39名
欠席	7名
出席免除者の出席	12名
出席率	87.93%
修正出席率	1月24日 第2762回 93.10%



◆クラブフォーラム ロータリー情報委員会

イニシエーションスピーチ

辻隆士君・成瀬克久君・山田庸雄君・岩井春次君

◆ 辻隆士君 ◆

本日は社用で欠席してしまい、まことに申し訳ございません。
 昨年5月20日に入会させていただきました、株式会社アコーデザインの辻隆士と申します。宜しくお願いいたします。

仕事は安城市箕輪町で、看板制作業を営んでおります。出身は岐阜県の高山市で、実家は専業農家で畜産業を営み、飛騨牛を飼育しております。現在は兄が家業をついで、自然豊かな地で畜産振興に努めております。私は三人兄弟の次男で、幼少より絵や文字を描くことが好きで何か生かせる仕事はないかと考え、昭和61年に刈谷市の看板制作会社に就職しました。その会社で看板見習いでお世話になった後、いろいろご縁をいただき平成2年、現在の株式会社アコーデザインに就職しました。今年で入社25年になります。

21歳で現在の弊社の会長と出会い、仕事は勿論、日々の行動等あたたかく、時には厳しく指導され、平成13年に代表者に就任しました。代表になって13年が過ぎましたが一年一年が勉強の毎日です。私がロータリークラブの活動等がさせて頂けるのも、社員の皆や家族の支えがあつてのことだと思います。会長はロータリークラブ入会を大変喜んでくれました。たくさんの人に支えられていることに感謝いたします。まだ入会させていただいて8か月ということで、わからないことも多々ありますが、毎週の例会、事業に極力参加し自分から先輩の方々と話し交流を深めていけたらと思います。先輩方のお言葉を聴き日々の出会いに感謝し、時間を大切に、仕事を一生懸命して職業奉仕がしていけたらと思います。

昨年は、盛大な入会式もしていただき、クリスマス家族例会では結婚のお祝いもしていただきました。忘れられない1年となりました。ありがとうございました。伝統と格式のある安城ロータリークラブに入会させていただいた意義を常に考え、先輩方のご指導を仰ぎながら謙虚に行動していきたいと思っております。

今後とも宜しくお願い致します。

追伸、大嶽社長様、イニシエーションスピーチの解説本を探して説明して下さりありがとうございました。
 神谷幹事様、本日は代読ありがとうございました。

◆ 成瀬克久君 ◆

こんにちは東海東京証券に勤務しています成瀬でございます。昨年の6月に「伝統と格式」のある安城ロータリークラブに入会させて頂きもう半年以上経ちました。都築会長、神谷幹事はじめ皆さんには気軽に声を掛けて頂きありがたく思っています。また出席委員会に配属されましたので、例会ではお話できる時間が余りありませんが皆さんのお名前とお顔を早く覚えるきっかけになったと思っています。前任の新田から「安城ロータリークラブの方は良い人ばかりだから気楽に。」と聞いていましたが本当にそのとおりでと思っています。

本日何を話させて頂こうかと考えた結果、私の名前と顔ぐらいいは分かってもらっていてもまだよく知って頂いていないと思いますので、改めて自己紹介をさせて頂く事にしました。私は1959年8月15日生まれの54歳です。終戦記念日ですのでかなりの方が一度で覚えて頂けます。栗きんとんで有名な岐阜県中津川市で生まれ、高校まで地元で過ごしました。勉強のために行くというより遊び、部活で皆に会えることもあって学校は好きでした。小・中・高校と休んだ記憶は殆どありません。裕福な家庭ではありませんでしたが好きなことをやらせてもらえ、野球ばかりやっていました。高校は一応進学校で硬式野球部はありませんでしたが野球をやりたいだったので軟式野球部に入部しました。もっとも身体が小さいので硬式は無理だったかもしれませんが。優秀なメンバーに恵まれ全国大会(藤井寺球場)、国体(青森国体)に出場する事ができ国体では優勝する事ができました。大学生活にあこがれを持っていたので卒業後は東京の大学に行きたいと思っていました。入学後も高校生までと同じように勉強はせずバイトと遊んでばかりでしたが、なんとか無事に卒業でき当時の「丸九証券」に入社しました。また野球の話で恐縮ですが会社に入っても野球をやっている証券業協会の名古屋の大会では13年間で12回優勝する事ができました。バブル時代でしたので10連覇したらハワイへ行かせてくれる話もでしたが、9年目に負けてしまい悔しい思いをした記憶があります。中学から野球をやっていましたがいつもメンバーに恵まれて良い結果も残せましたが楽しめました。20年近く野球から離れていましたが昨年会社で野球部を再結成し名古屋市の連盟に登録しました。明日初めての公式戦があります。中日新聞にも結果が載るみたいなのでもし覚えていたらみて下さい。私はヘッドコーチの肩書ももらっていますが、ヤジ将軍として暫く味わっていない興奮を味わいたいと楽しみにしています。土曜・日曜はほとんど中津川へ帰って田・畑の世話をしています。今年は野球も加わったので忙しくなりそうです。

前の勤務地の所沢や中津川と違って、安城は平地で道路も広く真っ直ぐだなと思ったのが最初の印象です。どれくらいの期間安城支店での勤務になるか分かりませんが、「安城ロータリークラブ」で教えて頂くことは多いと思います。今後ともどうかよろしくお願い致します。本日は貴重なお時間を頂きありがとうございました。



◆ 山田庸雄君 ◆

安城ロータリークラブに入会させて頂いて7か月が経ちました。先月、豊橋で開催された新入会員のセミナーに参加させてもらい少しは勉強になりましたが、未だ、未熟な点が多く皆様にご迷惑をお掛けすることも多いと思います。これからも皆様にご指導を賜って伝統と格式のある安城ロータリークラブのメンバーとして恥ずかしくない行動をとっていきたく思います。転勤族である私としてはこのロータリークラブに永年に渡り在籍することは出来ないことは残念ですが大垣共立銀行の支店長の職にあるときはしっかりとメンバーの職責を全うしていきたいと思っております。当行では出張所を含めて160に近い店舗がありますが、このようなクラブに入会している店舗は10数店舗しかない状況であると聞いていますので、この安城支店の支店長であるがゆえに素晴らしい経験が出来ていることに大垣共立銀行に対しても感謝したいと思っております。

私事ではありますが私は<天下分け目の戦>で知られる岐阜県不破郡関ケ原町で生を受けました。父親が繊維会社であるニチボー(現在のユニチカ)に勤務しており、会社の社宅に住んでいたのですが、私が物心付いたときには父親はずっと単身赴任で札幌、徳島、長崎等を転々としており、ゆっくりと遊んだ記憶も余りないものでした。最終的には大阪府貝塚市の貝塚工場に勤務することになり、長きに渡って単身赴任であったことから私は大阪の大学に進み、家族みんなで大阪での生活を送ることになったのは良い思い出でした。

就職に関しては金融機関に固執してはいなかったのですが就職活動を行っていく中で銀行に特化していくようになり、大学から近い関西方面か、生まれ育った岐阜県で決めるかは少々迷いましたがやはり友達の多い岐阜県を選択し岐阜県であれば「十六銀行」と決めていました。面接の練習として岐阜駅の手前の大垣駅で下車して「大垣共立銀行」に向いたのですが何を勘違いしたのか就職活動期限前だったのでオフィシャルな面接は行ってもらえず後日からは本命の「十六銀行」の面接を継続的に行っていたところ、運も良く内定をもらえました。大学から言われていたこともあって、その日の帰りに「大垣共立銀行」にその旨のお断りの挨拶に伺ったところ急遽、長時間の軟禁に遭って人事担当者から課長、次長、取締役人事部長までが順次現れて最後の人事部長の言葉「十六は内定、うちは決定！」で「解りました」と伝えた瞬間に「おめでとう！」と握手を求められた記憶が鮮明に残っています。なんと優柔不断な性格であったかが立証されたエピソードをご披露しました。

昭和58年に入行し初任店はなんと「安城支店」でした。旧店舗を取り壊して新築する前で一時期は仮設店舗で営業を行って、その後、新築の店舗で営業をリスタートさせたタイミングで全行員が一丸となって団結した思い出の多い店でしたが、30余年の時を過ぎて再び安城支店に赴任するとは思っていませんでした。安城支店をスタートとして名東区の西山支店、名古屋事務集中課、春日井支店、緑区の有松支店、審査部、扶桑町の扶桑支店、岐阜市の加納支店、千種区の本山支店、経営管理部、岐阜市の城東支店を歴任しました。



◆ 岩井春次君 ◆

(有) 日翔钣金塗装 代表 岩井春次 54歳昭和34年生まれ 猪です。

36歳にて独立 創業18年、目標50年企業を目指しています。おもな事業内容は自動車の钣金塗装、特にフレーム、足回りなどに損傷を受けた車の修理を得意としています。

自分で言うのも少し恥ずかしいのですが、技術力、設備ではこの三河では、トップクラスと自分では思っていますが、今後は、東海1を目指していきます。

通常フレーム修理は、一点を10tから20tのパワーでのフレーム修理が通常ですが、我が社では、車の先進医療のようなもので、車に優しく一点を1tから2tの力で、多方向から修正するジグ修正を採用しています。他に車のレントゲンのようなもので、前後、左右、上下の狂いを測る3次元計測機を導入して車の損傷をみきわめています。

現在の車はドライバーや、通行人を守るように、一部は鋼鉄のように強く、もう一部は針金のように弱く複雑に壊れるようにできており、アルミやカーボンを使用していて、職人の時代から技術者が数字で修理する時代へと変わってきました。

これからは、いかに短期間で新人を技術者へと育てることが自社の課題だと思っています。

最後に惜しみない努力はしますが、苦労だけはしたくはありません。

生涯カッコよく楽しく生きてみたいです。

伝統と格式あるロータリーに、似合う自分自身に育てます。ありがとうございます。

